

◆特集 マイナ保険証を問う



マイナ保険証 持っていないですが

デイサービス看護師

相良 芳恵

マイナ保険証 持っていないですが、それが？

マイナンバーが普及しないからと言って、政府はマイナンバーカードに保険証を紐づけしてマイナ保険証を推奨していった。かなりの国民が取得した。

そもそもマイナンバー制度のカード管理については、紛失しないように、カードを持ち歩かないようにと、おふれがあったが、何故か保険証をつけて持ち歩く事になってしまった。

まった。実際勧誘人数に政府は一件〇〇円のバラマキ策にでた。

私も病院とは縁が切れない。高血圧、不眠症、それに時々歯科に通う身であるがマイナンバーカードは持っていない。案の定、薬局で薬剤師や薬剤事務から勧めがあったが、私の考え方を説明したがわかってもらえないので、頑としてお断りした。

マイナ保険証のメリット、デメリット

「2024年12月2日から保険証を使えなくなる」のではないかと人々の不安を煽る、薬局等での店頭勧誘が秋ごろから始

「マイナ保険証を使うと、窓口会計が割安になります」と政府は決定したが、聞かせてくるのは、使い慣れない操作によるところのカードリーダー（読み取り機）の不具合であったり、認証番号忘れや、顔認証ができないなど、受付事務の手間ひまが15分もかかり、結果保険証の提示をもとめられるなどが挙げられる。（受付の時間がかかる。保険証照合目視で5〜10秒とも言

われている)。

受診時、受診経過がわかる、服用して薬の内容がわかる等々うたっているが、受診経過を知られたくない人も了解なしに反映？ 薬の処方内容は1ヵ月先しか出ない(おくすり手帳が早い)。発熱外来でも保険証提示を求める(感染症扱いで院内に入れない場合等々)。

高齢者は丁寧の説明されている？

私の所属するデイサービスでも、利用者さんから質問された。80歳代の一人暮らしの女性から「12月2日から保険証使えなくなるの？」と。朝デイサービスで迎えしてすぐの質問であった。「大丈夫使えますよ」と伝えて、次の利用日に新聞記事のコピー(図解つき)をお渡しして説明をした。「保険証の期限が切れる前に、保険証の代わりに資格証明書が発行されます。2025年7月の末日までは今の後期高齢者保険証を併せてお持ちください。その後は資格証明書が発行されますよ」と説明した所安心された。新聞のコピーをお守りのようにバックにしまわれた。

高齢者のデイサービス利用者さんは、全てが理解して頂けない方である。また、施設入所の利用者さんに至っては、物忘れや認知症、身体不自由な人、家族の協力

が得られない、単身者等々、様々の入所経緯がある。施設では入所者さんのマイナ保険証を預かる事が想定される理由として、夜間の緊急事態対応、家族が遠方などどうしても医療機関受診が避けられない等々である。そんな時、施設は重要な個人情報マイナンバーカード保険証を預かる事で、紛失や家族または本人からのあらぬ疑いのトラブル発生が考えられる。

また、更新時を考えて見ても、寝たきり状態の利用者さんの写真撮影をするにあたって、1回目で役所の納得できる写真ができるだろうか。申請出来たとして、本人が市役所にとりにいけるのだろうか。施設職員の業務の煩雑を招く事象になる。

医療機関も受診する側も

まだまだ問題を抱えている

マイナンバー保険証制度は、国民の健康を政府一元管理や、被保険者なりすまし防止等々挙げているが、今の所、国民の個人情報監視・管理下に置くのが目的でないかと考えてしまう。マイナ保険証は多くの問題をかかえたままに施行され、国民の不安をおおった。保険証を守り、日本の皆保険制度を守る事が重要だと訴えたい。

(さがら よしえ)